

# 県の長期ビジョンと中期プラン

## 意見公募を開始

県は十五日、長期計画の「強しんな美し国ビジョンみえ」と中期計画「みえ元気プラン」の最終案に対するパブリックコメント（意見公募）を開始した。来月十五日まで意見を受け付ける。

県によると、両計画に対する意見公募は二度目。両計画の概要案を対象に三月からの一カ月間にわたって

実施した意見公募では百二十三件の意見が寄せられ、うち三十七件を最終案に反映していた。

施策ごとにKPI（重要業績評価指標）を設けるなど、概要案を具体化した最終案への意見を募るため、再び実施することにした。寄せられた意見は、九月の議会提出を予定する両計画に反映させる方針。

また、県は二十三日から来月四日まで、両計画の説明会を県の地域庁舎やオンラインで開く。県民や関係団体、市町職員らの出席を想定。担当職員が最終案について説明し、参加者から意見を聞き取る。

意見公募は県ホームページにあるシステムのほか、電子メール、郵送、ファクスでも受け付ける。説明会

の申し込みは不要。問い合わせは戦略企画部企画課Ⅱ電話059(224)2025へ。

## 山川氏に委嘱状と感謝状

### 松阪の三重化学工業社長、中小企業応援士に

中小企業基盤整備機構中部本部の茂木文雄本部長は十五日、松阪市大口町の三重化学工業本社を訪れ、山川大輔社長に、中小・小規模事業者を応援する「中小企業応援士」の委嘱状を渡

した。また同社長には中小企業の活躍や地域の発展に貢献したとして、感謝状も贈られた。

応援士は今年度全国四十一人が委嘱され、県内から唯一山川社長が選ばれた。

山川社長は「応援士の委嘱をいただき大きな責任を感じている。企業同士の連携をより強めていけるよう、応援士として努力していきたい」と意気込みを語った。



委嘱状を手を持つ山川社長（右）と茂木本部長（左）＝松阪市大口町の三重化学工業で

茂木本部長は「熱い言葉をいただいた。活発な意見交換を通して、企業間の連携、中小機構の支援のリーチ拡大につなげていってほしい」と、感謝と期待を寄せた。